

## 植生防護柵内外の植生および植物相の調査予定(2009年度)

高知大学グループ 石川慎吾

調査地	防護柵数	設置年月日	プロット数		既調査月日	調査予定日程	
			内	外			
さおりが原	1	2008., 03, 16	5	5	5月2日	8月下旬	
トチノキ巨木	1	2008., 03, 16	3	3	5月2日	8月下旬	
カンカケ谷1	1	2008, 03, 16	3	3		9月上旬	
カンカケ谷2	1	2008, 03, 16	2	2		9月上旬	
カンカケ谷3	1	2008, 03, 16	2	2		9月上旬	
カンカケ谷4	1	2008, 03, 16	2	2		9月上旬	
韭生越	2	2008, 05, 17	5	5	5月30日	7月上～中旬	9月上～中旬
韭生越	2	2009, 04, 11	5	5		7月上～中旬	9月上～中旬

調査項目	備 考
植被率(%)	草本層を主に調査するが、低木層および蘚苔層の発達が認められた場合にはそれぞれの階層ごとに判定する。
群落高(cm)	植被率に同じ。
出現種の被度(%)	10%未満は1%, 10%以上は5%間隔で判定する。
出現種の平均草丈(cm)	現地にて平均的な個体の草丈を測定する。
林冠の空隙率	魚眼レンズを用いて高さ1mで全天空写真を撮影し、林冠の空隙率を算出する。
防護柵内の出現種リスト	植生保護柵内全体をくまなく歩き、プロットに出現しなかった種を記録し、保護柵ごとのフロラリストを作成する。韭生越の保護柵については坂本彰さんが担当。場合によっては調査する柵の数を増やす。

平成 21 年度 野生鳥獣との共存に向けた生息環境等整備モデル事業  
四国山地緑の回廊（剣山地区）モデル地域実施計画（案）

## 1 事業内容

## (1) 野生鳥獣生息状況等の調査

実施事項	実施内容
ニホンジカの生息環境調査、動態調査	植生の被害状況及びニホンジカに発信機を付けて移動範囲等を把握(徳島、高知)

## (2) 地方自治体、NPO等との連携体制の整備

## ① 連絡会議の開催

開催時期	参加予定者	会議内容
6 月 11 月 平成 22 年 2 月	環境省、関係県、関係市町村、学識経験者、地元団体等	実施方針等の検討、生息調査等、対策の内容の調整等

## ② その他特記事項

引き続き、地方自治体、NPO等と連携、協働を強化する。

(3) 野生鳥獣との共存に向けた対策の実施

実施事項	実施内容
防護柵等の設置	シカ防護柵（徳島）、単木保護ネット(高知)等の設置
植生回復調査	設置した防護柵内の植生回復状況調査（高知）
管理業務	設置した防護柵等の見回り等(徳島、高知)

(4) モデル地域における森林整備事業との連携

区分		面積 (ha)	備考
更	地拵	0	
	植付	3	
新	補植	0	
保	下刈	6	
	つる切	0	
育	除伐（Ⅱ類含む）	20	
間	保育間伐（存置型）	130	本数調整伐を含む
	保育間伐（活用型）	164	
	誘導伐	0	
	保護伐	0	
	育成受光伐	0	
伐	天然林受光伐	0	
	皆伐	0	
主	択伐 うち、保護伐 育成受光伐 天然林受光伐	0	
	漸伐 うち、保護伐 育成受光伐 天然林受光伐	0	
伐	複層伐 うち、誘導伐 保護伐	0	

他の事業との連携

① 緑の回廊整備特別対策事業

四国山地緑の回廊(剣山地区)におけるニホンジカの生息密度及び植生被害調査

② 保護林保全緊急対策

西熊山植物群落保護林、石立山植物群落保護林、槍戸林木遺伝資源保存林

2 所要予算額

事業内容	予算額 (単位:円)
野生鳥獣生息状況等の調査	
地方自治体、NPO等との連携体制の整備	
野生鳥獣との共存に向けた対策	
計	12,000,000

注：委託調査等は一般競争入札となるため、予算額の内訳は示さない。

平成 21 年度 野生鳥獣との共存に向けた生息環境等整備モデル事業  
四国山地緑の回廊（剣山地区）モデル地域実施計画（案）

## 1 事業内容

## (1) 野生鳥獣生息状況等の調査

実施事項	実施内容
ニホンジカの生息環境調査、動態調査	植生の被害状況及びニホンジカに発信機を付けて移動範囲等を把握(徳島、高知)

## (2) 地方自治体、NPO等との連携体制の整備

## ① 連絡会議の開催

開催時期	参加予定者	会議内容
6 月 11 月 平成 22 年 2 月	環境省、関係県、関係市町村、学識経験者、地元団体等	実施方針等の検討、生息調査等、対策の内容の調整等

## ② その他特記事項

引き続き、地方自治体、NPO等と連携、協働を強化する。

(3) 野生鳥獣との共存に向けた対策の実施

実施事項	実施内容
防護柵等の設置	シカ防護柵（徳島）、単木保護ネット(高知)等の設置
植生回復調査	設置した防護柵内の植生回復状況調査（高知）
管理業務	設置した防護柵等の見回り等(徳島、高知)

(4) モデル地域における森林整備事業との連携

区分		面積 (ha)	備考
更	地拵	0	
	植付	3	
新	補植	0	
保	下刈	6	
	つる切	0	
育	除伐（Ⅱ類含む）	20	
間	保育間伐（存置型）	130	本数調整伐を含む
	保育間伐（活用型）	164	
	誘導伐	0	
	保護伐	0	
	育成受光伐	0	
伐	天然林受光伐	0	
	皆伐	0	
主	択伐 うち、保護伐 育成受光伐 天然林受光伐	0	
	漸伐 うち、保護伐 育成受光伐 天然林受光伐	0	
伐	複層伐 うち、誘導伐 保護伐	0	

他の事業との連携

① 緑の回廊整備特別対策事業

四国山地緑の回廊(剣山地区)におけるニホンジカの生息密度及び植生被害調査

② 保護林保全緊急対策

西熊山植物群落保護林、石立山植物群落保護林、槍戸林木遺伝資源保存林

2 所要予算額

事業内容	予算額 (単位:円)
野生鳥獣生息状況等の調査	
地方自治体、NPO等との連携体制の整備	
野生鳥獣との共存に向けた対策	
計	12,000,000

注：委託調査等は一般競争入札となるため、予算額の内訳は示さない。